



2023 年度



12月 園だより

社会福祉法人雲柱社
五日市保育園



ひんやりした空気、冷たい風に冬が近づいていることを感じます。そして、冬の訪れと共に、みんなが心待ちにしている嬉しいクリスマスがやってきます。園内には少しずつクリスマスの飾りが増えていき、各クラスのお部屋には毎日1枚ずつ日めくりをしていくアドヴェントカレンダーが飾られました。

今年度入園された子どもたちや保護者の皆さんにとっては、はじめてキリスト教園でのクリスマスを迎える方やクリスマス＝イエスキリストのお誕生という意味を知る方もいらっしゃるのではないのでしょうか。神の子イエスさまは、私たちの罪を救うために、世の光として訳 2000 年前のクリスマスの夜、この世に生まれてくださったのです。そして、イエスさまの生まれた場面を劇や歌で再現してお祝いすることを生誕劇といいます。幼児クラスのクリスマス会では、たてわりクラスでこの生誕劇を行います。お部屋から生誕劇の練習をする子どもたちの可愛い歌声も聞こえてきました。12 月に入るとクリスマスに向けての礼拝も行います。ロウソクにマッチで火をつけると乳児クラスの小さな子どもたちも、静かにじっと揺れる火を見つめています。今年もきっと素敵なクリスマス会になることでしょう。どうぞ楽しみにしててください。



いつもクリスマスの時期になると読みたくなる大好きな絵本があります。

「かみさまからのおくりもの」(ひぐちみちこ)・・・赤ちゃんが生まれるとき、神さまは一人ひとりの赤ちゃんに贈りものをくださいます。贈りものは天使が届けてくれます。ほっぺの赤い赤ちゃんには「よく笑う」の贈りもの…赤ちゃんはよく笑う明るい子どもになりました。大きい赤ちゃんには「ちからもち」…赤ちゃんは力持ちの元気な子どもになりました。泣いている赤ちゃんへの贈りものは「歌が好き」…赤ちゃんは歌の好きな声のきれいな子どもになりました。よく動く赤ちゃんには「よく食べる」の贈りもの…赤ちゃんはよく食べる丈夫な子どもになりました。すやすや寝ている赤ちゃんには…「やさしい」。赤ちゃんは心のやさしい子どもになりました。「かみさま、すてきな贈りものをありがとう。」というお話の絵本です。



クリスマスの日にはご家族でゆっくりと、一人ひとりが神さまからもらったプレゼントについて一緒に考えたり、お話ししてみたいかがでしょうか。

どうぞ世界中に平和が訪れますように。すべての人にクリスマスの喜びが届きますように。



子どもの祈り



神さま、わたしたちぼくたちにはちがひがあります。でもそのちがひはとてもゆたかで楽しいことです。

いろいろなひとたちとなかよくできますように。

神さま もう少しでクリスマスがきます。

私たちはクリスマスをうれしく待っています。

クリスマスがイエスさまの誕生日とみんなに伝えることができますように。

神さま 泣いている子どもと 困っている子どもを 助けてください。お願いします。

(キリスト教保育 12 月号より)